

「障がい者施策とSDGsに関するアンケート」 実施報告

障がい福祉課及び企画課が実施しました「障がい者施策とSDGsに関するアンケート」について、941名の方からご回答をいただきました。

アンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

(1) アンケート実施期間

令和4年8月31（水）～令和4年9月19日（月）

(2) アンケート回収状況

対象者数 1386名

回答者数 941名

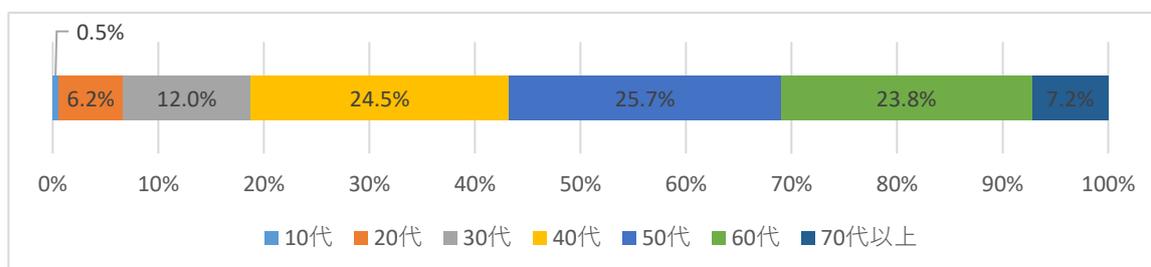
回答率 67.8%

(3) 回答者属性

【年代別】

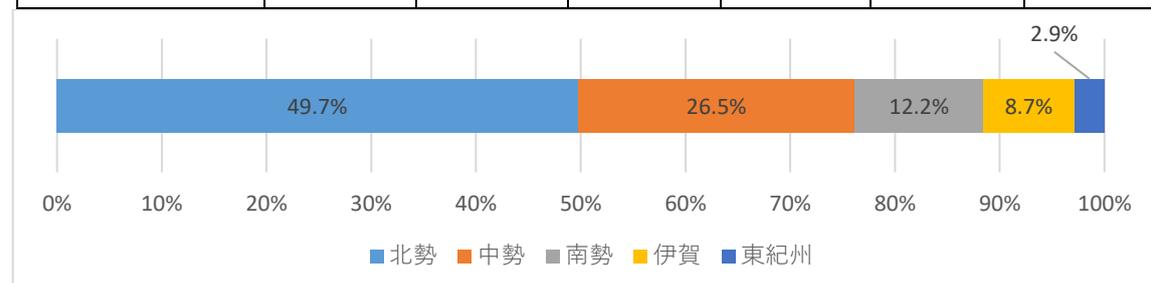
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数(人)	5	58	113	231	242	224	68	941
割合	0.5%	6.2%	12.0%	24.5%	25.7%	23.8%	7.2%	100.0%

※割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



【地域別】

	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	計
回答者数(人)	468	249	115	82	27	941
割合	49.7%	26.5%	12.2%	8.7%	2.9%	100.0%

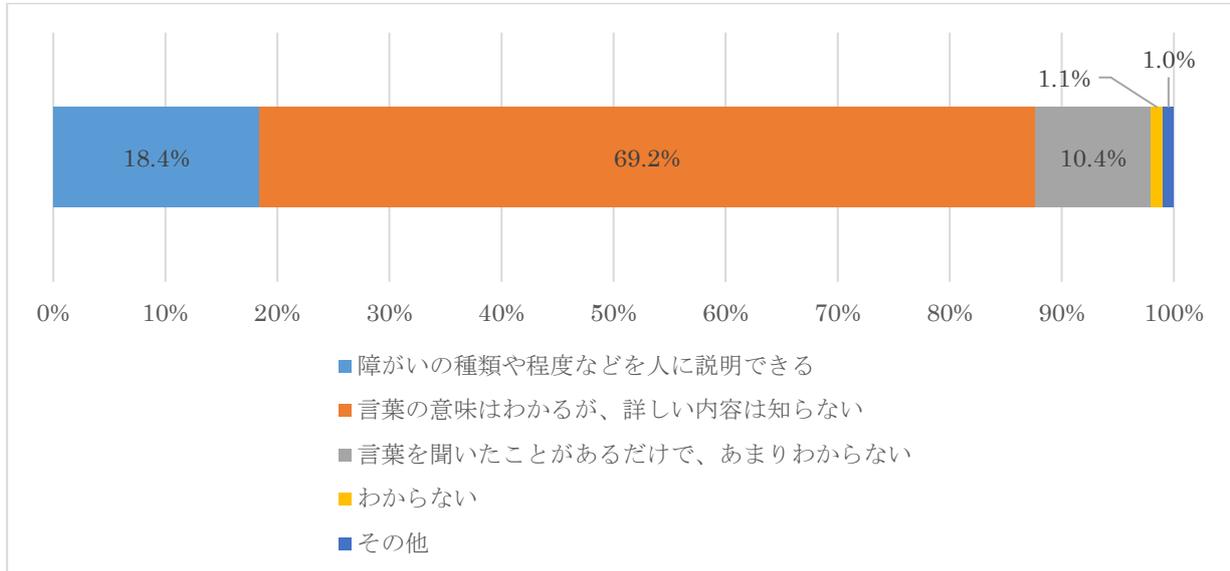


(4) アンケート集計結果

Q1 障がいの理解について

あなたは、障がいについて、どの程度理解していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(単位：%)

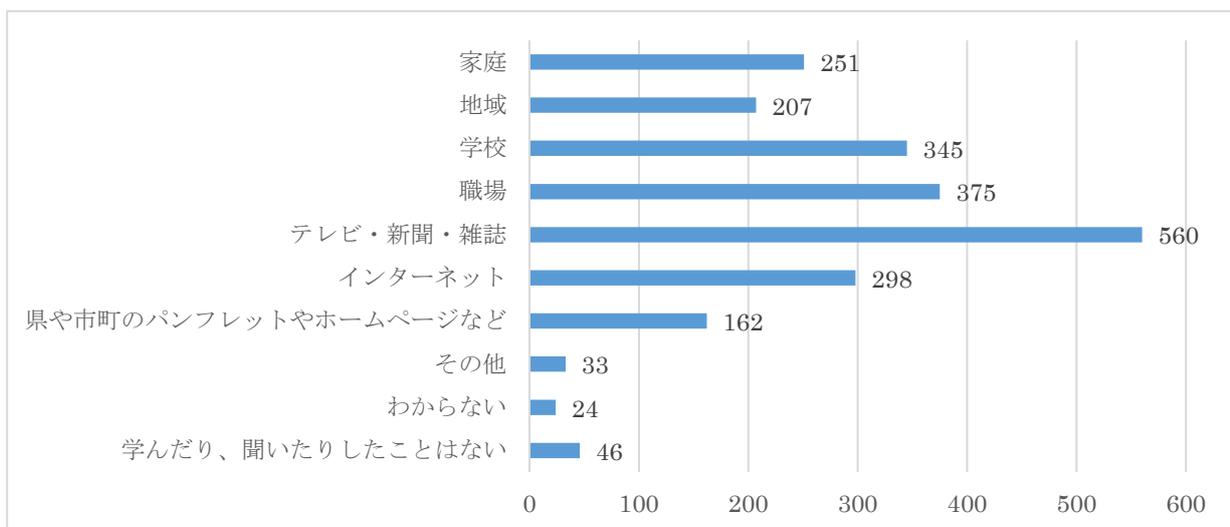


最も多い回答は「言葉の意味はわかるが、詳しい内容は知らない」で69.2%、次いで「障がいの種類や程度などを人に説明できる」が18.4%という結果でした。

Q2 障がいを知る機会について

あなたは、障がいや障がい者について、どこかで学んだり、聞いたりしたことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：人)

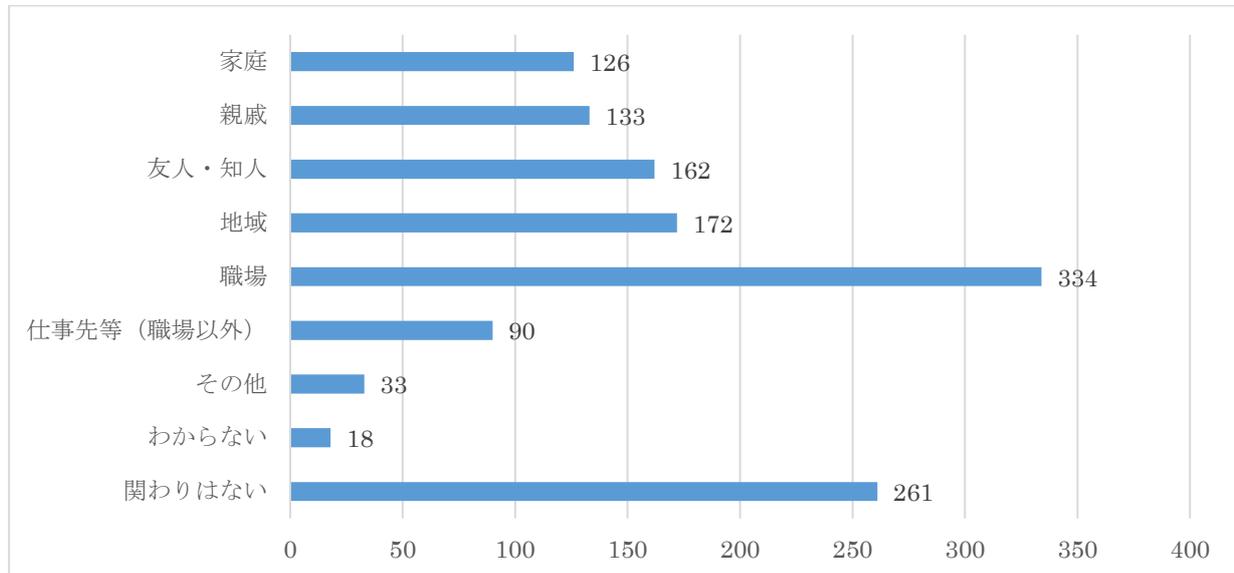


最も多い回答は「テレビ・新聞・雑誌」(560人)で、次いで「職場」(375人)、「学校」(345人)の順でした。

Q3 障がい者との関わりについて

あなたは、現在、どのような場面で障がい者と関わり（関係を持ったり、つながりがあったりすること）がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：人)

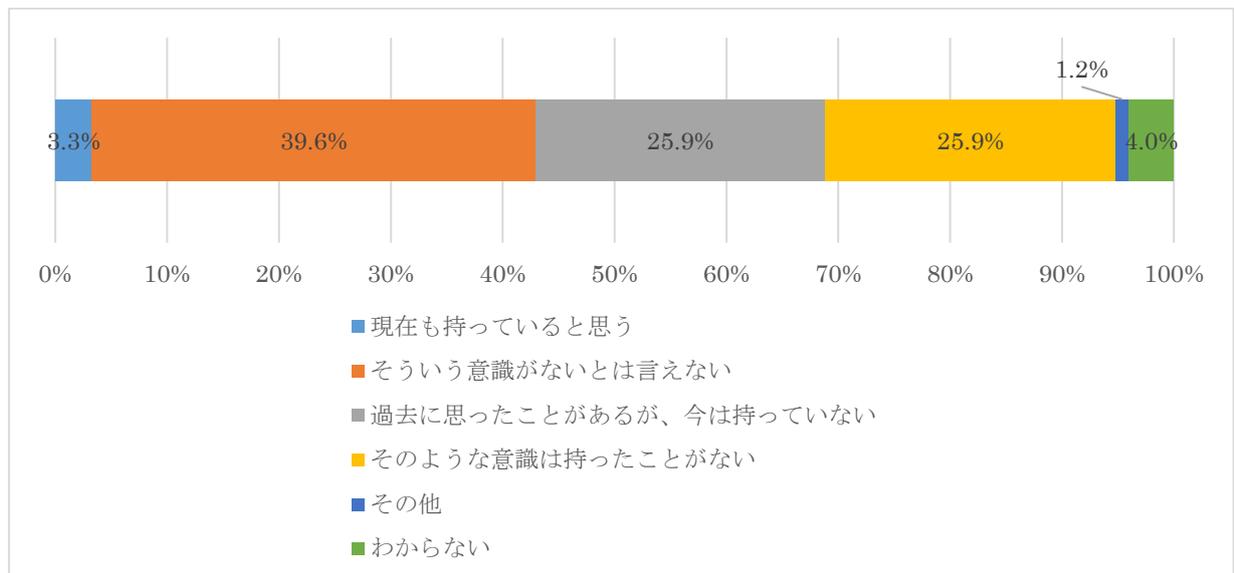


最も多い回答は「職場」(334人)で、次いで「関わりはない」(261人)、「地域」(172人)、「友人・知人」(162人)の順でした。

Q4 障がい者に対する差別・偏見について

あなたは、障がい者に対して差別や偏見の意識を持ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(単位：%)

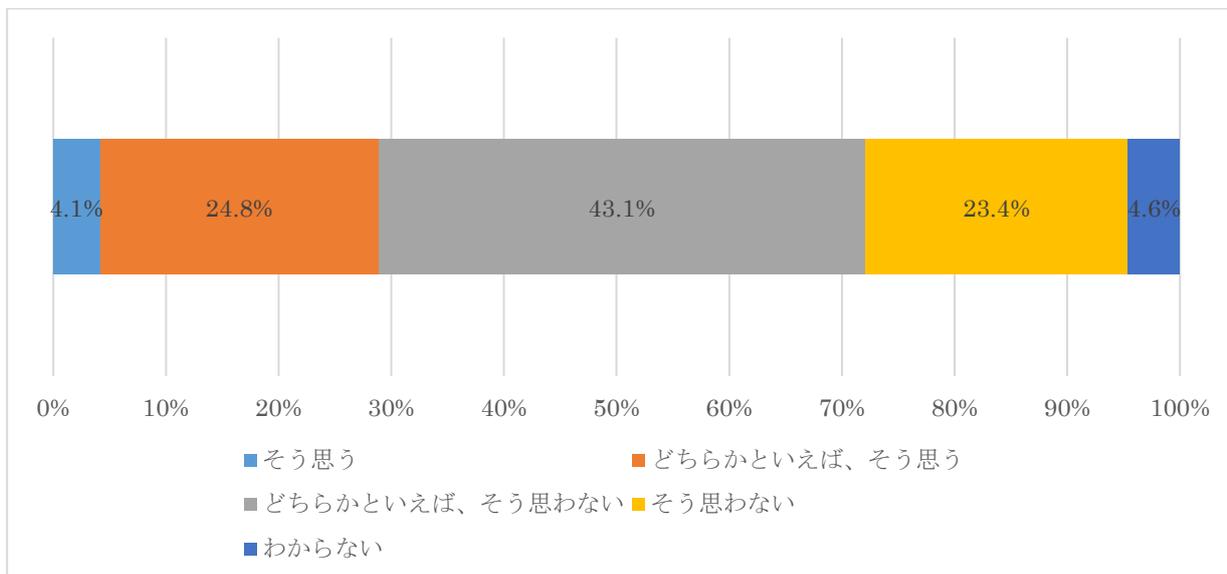


最も多い回答は「そういう意識がないとは言えない」で39.6%、次いで「過去に思ったことがあるが、今は持っていない」と「そのような意識は持ったことがない」が共に25.9%という結果でした。

Q5 障がい者への差別・偏見のない社会について

あなたは、障がいのある人に対する差別や偏見のない社会になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(単位：%)

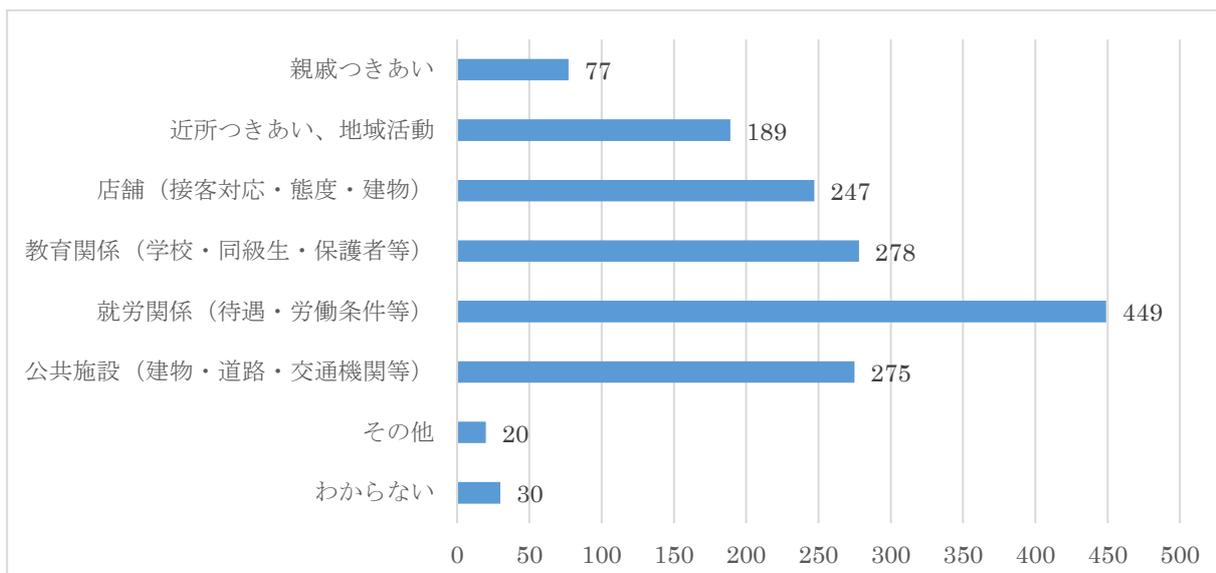


最も多い回答は「どちらかといえば、そう思わない」で43.1%、次いで「どちらかといえば、そう思う」が24.8%、次いで「そう思わない」が23.4%という結果でした。

Q6 障がい者への差別・偏見を感じる場面について

Q5で「どちらかといえば、そう思わない」または「そう思わない」と回答された人にお聞きします。あなたは、社会のどのような場面において差別や偏見が残っていると感じますか。あてはまるものを全て選んでください。

(単位：人)

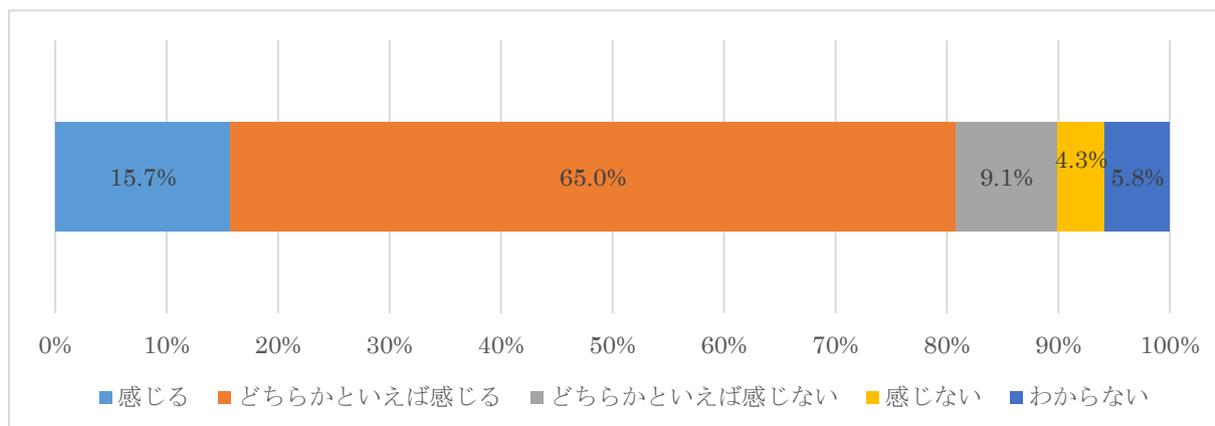


最も多い回答は「就労関係（待遇、労働条件等）」(449人)、次いで「教育関係（学校・同級生・保護者等）」(278人)、次いで「公共施設（建物・道路・交通機関等）」(275人)という結果でした。

Q7 障がい者に対する理解について

あなたは、以前に比べて障がい者に対する理解が進んでいると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(単位：%)



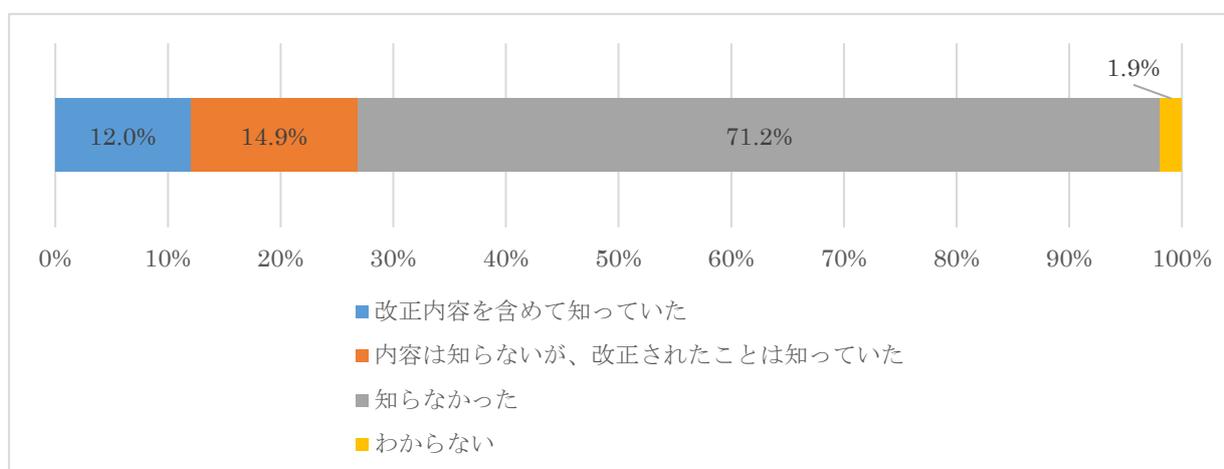
肯定的な回答（「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）は、80.7%、否定的な回答（「どちらかといえば感じない」と「感じない」の合計）は13.4%でした。

Q8 障害者差別解消法の改正について

令和3年6月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（以下「障害者差別解消法」といいます。）が改正、公布されました。公布から3年を超えない時期に施行されますが、施行後は、事業者は障がい者から何らかの配慮を求められた場合は、過重な負担がない範囲で社会的障壁を取り除くために必要かつ合理的な配慮（合理的配慮）を行うことが義務となります。（現在は努力義務（公的機関は義務）です。）

障害者差別解消法が改正されたことを知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

(単位：%)



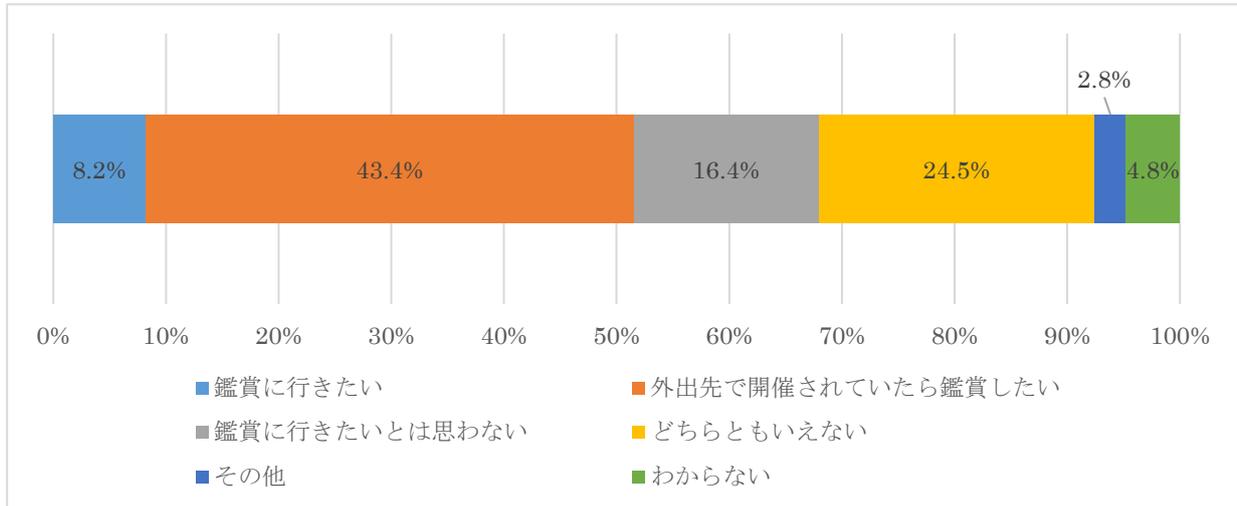
最も多い回答は「知らなかった」で71.2%、次いで「内容は知らないが、改製されたことは知っていた」が14.9%、次いで「改正内容を含めて知っていた」が12.0%という結果でした。

Q9 障がい者の芸術文化活動について

三重県では「三重県障がい者芸術文化活動支援センター」を設置し、「三重県障がい者芸術文化祭」を開催するなど、障がい者の芸術文化活動を推進しています。

障がい者芸術の展示会が開催されていたら鑑賞に行きたいと思いませんか。あてはまるものを1つ選んでください。

(単位：%)

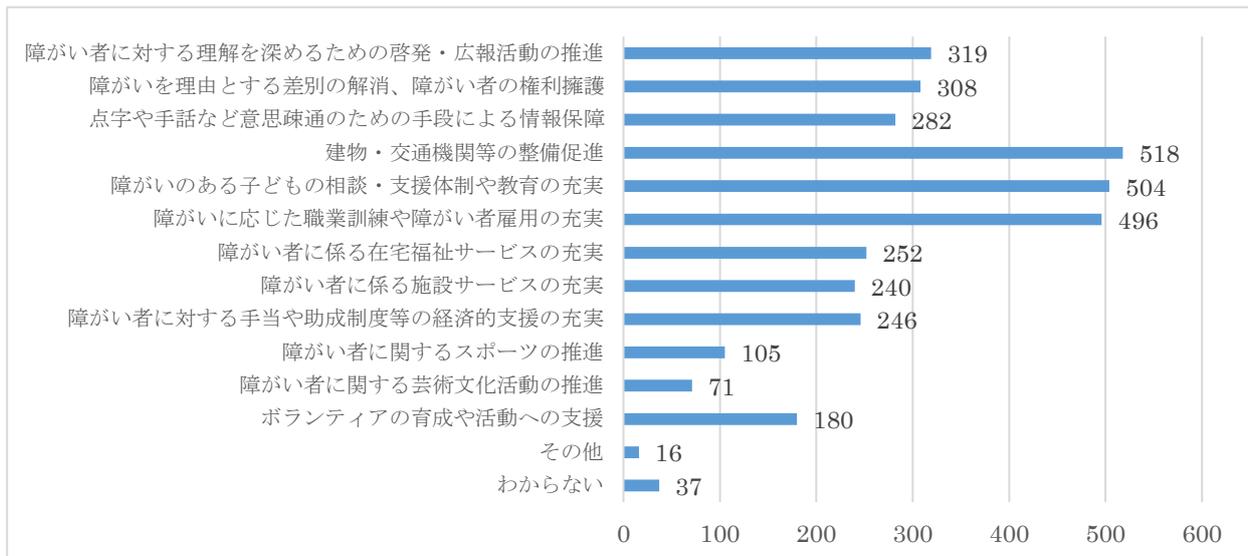


最も多い回答は「外出先で開催されていたら鑑賞したい」で43.4%、次いで「どちらともいえない」が24.5%、次いで「鑑賞に行きたいとは思わない」が16.4%という結果でした。

Q10 障がい者の施策推進について

障がい者に関する県の施策のうち、あなたが最も力を入れる必要があると思う分野は何ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

(単位：人)



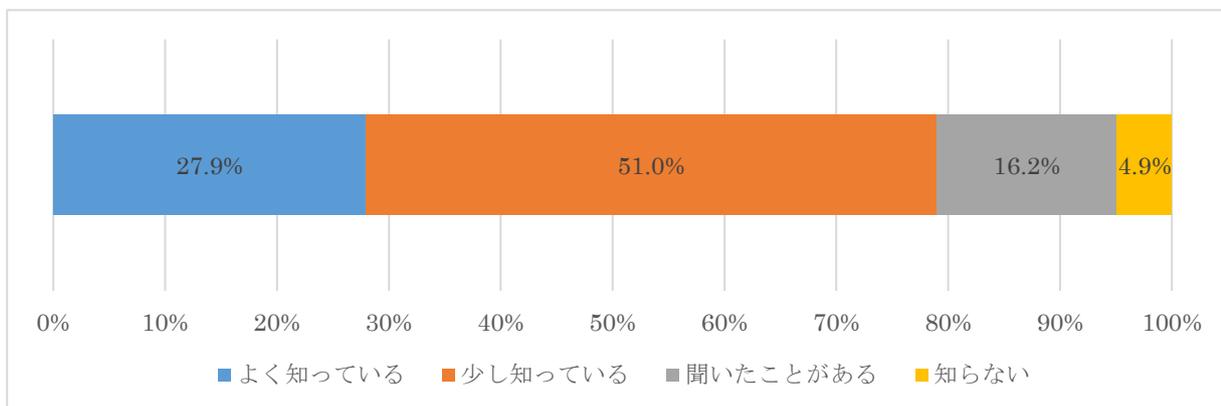
「建物・交通機関等の整備促進」(518人)が最も多い回答で、次いで「障がいのある子どもの相談・支援体制や教育の充実」(504人)、次いで「障がいに応じた職業訓練や障がい者雇用の充実」(496人)でした。

Q11 SDGsについて

あなたは、SDGs（エスディージーズ）という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※SDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）とは、「誰一人取り残さない」ことを理念とし、持続可能な社会を実現するため、2030年までに世界が取り組むことが求められている目標です。平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された2030アジェンダにおいて定められています。

（単位：％）



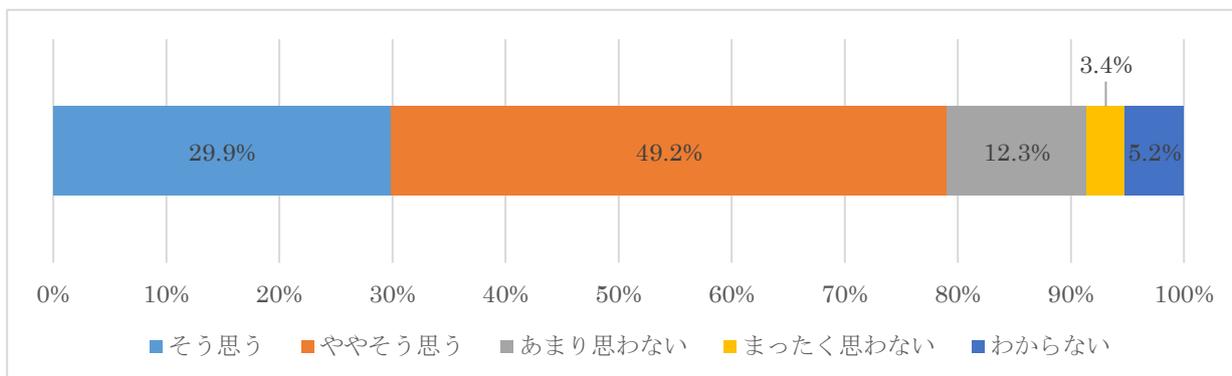
「よく知っている」と回答した人が27.9%、「少し知っている」と回答した人が51.0%、「聞いたことがある」と回答した人が16.2%、「知らない」と回答した人が4.9%でした。「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた合計は78.9%でした。

Q12 SDGsに取り組む企業等の商品について

あなたは、SDGsに取り組む企業や団体の製品・サービスを使用・購入したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

（例：リサイクル可能な素材で作られている商品、製造やサービス提供の工程が環境や社会に配慮されている商品など）

（単位：％）



「そう思う」と回答した人が29.9%、「ややそう思う」と回答した人が49.2%、「あまり思わない」と回答した人が12.3%、「まったく思わない」と回答した人が3.4%、「わからない」と回答した人が5.2%でした。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた合計は79.1%でした。